

月	単元・題材名	時数	主に学習すること	学習の目標	評価の観点
4月	1章 多項式 ○多項式の計算 ・多項式と単項式の乗除 ・多項式の乗法 ・乗法公式 ○因数分解 ・因数分解 ・公式を利用する因数分解 ○式の計算の利用 ・式の計算の利用	19	・多項式と単項式の計算の方法と、その計算をすること ・2項式どうしの計算の方法と、その計算をすること ・乗法公式を使って式を展開すること ・因数分解 ・乗法公式や因数分解を利用した数や式の計算、証明。	・単項式、多項式どうしの乗法の計算ができる。 ・乗法公式を使って、展開することができる。 ・乗法公式を利用して、因数分解することができる。 ・素因数分解の意味と方法がわかり素因数分解ができる。 ・整数の性質に興味をもち、等式を利用して説明できる。	1
5月					3
6月					4
7月	2章 平方根 ○平方根 ・平方根 ・素因数分解 ○根号をふくむ式の計算 ・根号をふくむ式の乗除 ・根号をふくむ式の加減 ・根号をふくむ式のいろいろな計算 ・平方根の利用	17	・平方根の意味とその表し方。 ・根号のついた数の乗除・加減の計算。 ・有理数、無理数の意味を知り、その観点から数が分類できることを理解する。	・根号の意味や表し方を理解する。 ・根号を含む式の四則混合計算をすることができる。 ・根号を含んだ式の四則計算の方法や手順や理解し、計算ができる。	1
9月					3
9月	3章 2次方程式 ○2次方程式とその解き方 ・2次方程式 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の公式 ・因数分解による解き方 ・いろいろな2次方程式 ○2次方程式の利用	18	・2次方程式とその解の意味を理解する。 ・因数分解や平方根を用いて2次方程式を解くことができるようにする。 ・文章題を2次方程式を用いて解けるようにする。 ・解の公式を知り、それを用いて2次方程式を解くことができるようにする。	・問題解決に方程式を利用することのよさがわかり、2次方程式とその解の意味を調べたり、2次方程式の解の求め方を調べようとする。 ・2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式の解の求め方を、因数分解や平方根の意味に基づいて考えることができる。 ・求めた解を問題との関係においてその適否を吟味することができる。	1
10月					2
10月					3
10月					4
10月	4章 関数 $y = ax^2$ ○関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ のグラフ ・関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・関数 $y = ax^2$ の利用 ○いろいろな関数	13	・2乗に比例する関数の意味を理解し、その特徴を式の形でとらえることができるようにする。 ・関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴とのかき方を理解する。 ・日常の事象の中から2乗に比例する関係を見だし、理解を深める。 ・いろいろな事象の中に関数があることを理解する。	・2乗に比例する関数を式に表したり、それをもとにグラフをかくことができる。 ・関数関数 $y = ax^2$ の式とグラフの関係を考察したり、関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴をとらえることができる。	1
11月					2
11月					3
11月					4
11月	5章 相似な図形 ○相似な図形 ・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・相似の利用 ○平行線と比 ・三角形と比 ・平行線と比 ○相似な図形の面積と体積 ・相似な図形の相似比と面積比 ・相似な立体の表面積や体積の比	20	・相似な図形の性質を理解する。 ・三角形の相似条件を理解する。 ・平行線と比及びその逆に関する性質、中点連結定理を確かめ、それを図形の性質の証明に利用できるようにする。 ・立体の相似の意味と相似な図形の相似比と面積比、体積比の関係	・相似の意味や相似な図形の性質がわかる。 ・三角形の相似条件がわかる。 ・三角形の相似条件を使って、図形の性質を調べることができる。 ・平行線と線分の比の関をもとに線分の長さや比を求めることができる。 ・相似な図形の面積比や体積比を求めることができる。	1
12月					2
12月					3
12月	6章 三平方の定理 ○三平方の定理 ・三平方の定理 ・三平方の定理の逆 ○三平方の定理の利用 ・三平方の定理の利用 ・いろいろな問題	11	・三平方の定理とその逆。 ・三平方の定理を用いた図形の計量。	・三平方の定理を理解する。 ・三平方の定理を利用して、図形の長さや面積、表面積や体積を求めることができる。 ・立体図形の計量を解決するために図形の中に直角三角を見だし、三平方の定理を利用できる形に導くことができる。	1
1月					2
1月	7章 円 ○円周角の定理 ・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・作図と円周角 ○円と直線 ・円の接線 ・円と相似	14	・円周角の定理を理解する。 ・円周角の定理の逆を理解する。 ・円周角を利用して、等しい大きさの角をつくる。 ・円周角を利用して相似な図形を見つける	・円周角の定理を理解する。 ・円周角の定理の逆を理解する。 ・円周角を利用して、等しい大きさの角をつくる。 ・円周角を利用して相似な図形を見つける	2
2月					3
3月					4
3月	8章 標本調査 ○母集団と標本 ・標本調査 ・標本調査の方法 ・標本調査の利用	6	・標本調査の必要性和意味 ・標本調査による母集団の傾向の説明	・標本調査の必要性和意味が理解できる。 ・標本調査による母集団の傾向の説明ができるようになる。	2
3月					3
3月	三年間の復習	22	・三年間の計算・関数について、図形の性質・確率とそれらを総合した考え方を深めるようにする。	・積極的に課題解決に取り組む。 ・既習内容を振り返りながら領域ごとにまとめることができる。 ・課題に応じて学習内容を組み合わせ解を求めることができる。	1
3月					4
3月					3
		合計	※評価の観点 1 関心・意欲・態度 2 見方・考え方 3 表現・処理 4 知識・理解		
		140			

